

福祉やまぞえ

VOL. 121

平成27年11.26

素敵なゲストの登場!



大塩なごみの会に、今回は素敵なゲストが来て下さいました。県内各地で年間数十回公演されているマジシャンのミッチーとその仲間たち! ひもやコインなどを使ったマジックショーと腹話術が披露されました。ミッチーのマジックの技術だけではなく、場を盛り上げる話術もお上手で、大塩改善センターは終始“笑い”の絶えない賑やかな雰囲気になりました。

また、公演後は、地元サポーター手作りの「ちらし寿司」をいただき、参加者からも『今日は、気持ちもお腹も大満足!』と楽しいサロンのひとときを満喫されていました。

一人はみんなのために、みんなは一人のために

編集・発行／



社会福祉法人 山添村社会福祉協議会

〒630-2344

奈良県山辺郡山添村大字大西1395番地の1

TEL.0743-85-0181 FAX.0743-85-0820 Eメール／yamazoe-shakyo@kcn.jp

「歳末たすけあい募金」 にご協力お願いします

-みんなでささえあう あったかい地域づくり-

12月1日から全国的に“みんなでささえあうあったかい地域づくり”をスローガンに「歳末たすけあい運動」が実施されます。本協議会では各大字区長さんを通じて「歳末たすけあい募金」の戸別募金をお願いしております。

すでにご協力いただいている「赤い羽根共同募金」はひとり暮らしの高齢者を対象とした「ほのぼの昼食会」経費や各大字単位で推進している高齢者等を対象としたサロン活動助成等に、また、「歳末たすけあい募金」は年末に民生児童委員さんのご協力により実施する寝たきりの高齢者等への「在宅歳末訪問」事業に活用させていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。



【赤い羽根共同募金】

途中実績額 446,192円
(平成27年10月末現在)
(今年度目標額:619,000円)

【歳末たすけあい募金】

今年度目標額 794,000円

社会福祉協議会会員 募集にご協力ありがとう ございました

平成27年度山添村社会福祉協議会の会員募集を展開してまいりました。村民の皆さんのご協力により、多大な成果をあげることができました。

お寄せいただいた会費は、本協議会が発行している広報紙の経費やボランティア活動支援など、地域福祉の充実のために活用させていただきます。村民の皆さんに愛される社協づくりに取り組んでいきますので、今後ともご支援をお願いいたします。

会費 532,500円
会員 1,065名
(平成27年11月9日現在)

村内商工関係の皆さんへ

「2016年版カレンダー」寄贈のお願い

12月から始まる「歳末たすけあい運動」の一環として、県共同募金会主催の「第9回歳末たすけあい新作カレンダーチャリティバザー展」が12月中旬から1月上旬にかけて県内の7ヶ所のショッピングセンター等で開催されます。本村においても同バザーに出展いただく来年2016年版カレンダーの寄贈を受け付けています。カレンダーの作成を予定されている村内商工関係の皆さんのご協力をお願いいたします。なお、寄贈いただきましたカレンダーはバザー会場にて、来場者に購入していただき、収益金は県内の民間福祉活動や災害への支援に役立てられます。

【受付期間】 12月4日(金)まで

【受付場所】 山添村社会福祉協議会
山添村商工会

【受付部数】 部数の指定はございません。ご協力いただける部数で構いません。

【開催場所・日程】

- | | |
|--------------|------------------|
| ①イオンモール高の原 | 12月10日(木)～13日(日) |
| ②イオンモール檀原 | 12月14日(月)～15日(火) |
| ③ならファミリー | 12月16日(水)～17日(木) |
| ④近鉄百貨店檀原店 | 12月18日(金)～19日(土) |
| ⑤イオンモール大和郡山 | 12月21日(月)～22日(火) |
| ⑥県社会福祉総合センター | 12月24日(木)～25日(金) |
| ⑦県立図書情報館 | 1月 7日(木)～11日(月) |

33名がナイスショット! - 第22回やまぞえチャリティゴルフ大会 -

ゴルフ愛好家の社会福祉への理解を深めるため、平成6年から開催している「やまぞえチャリティゴルフ大会」を去る9月8日、オークモントゴルフクラブ（山添村岩屋）で開催しました。今回で22回目となる同大会には、村内外から33名が参加。参加費に含まれる基本チャリティ募金に加え、プレー中に池ポチャやOBなどをすると募金していただくルールを設けており、プレーヤーの皆さんから88,200円の心温まる募金が寄せられました。

寄せられた募金は、福祉機器のほか、各大字単位で推進している高齢者等を対象としたサロン活動で使用するレクリエーション用具などを購入させていただく予定をしております。

なお、同大会の入賞者は次の方々です。

- 【優勝】 井藤 弘司さん（奈良市）
- 【準優勝】 峠 英司さん（山添村大西）
- 【第3位】 宮田 久一さん（伊賀市）
- 【ベストグロス】 福永 豊さん（名張市）



山添村身体障害者福祉協議会 充実の秋を満喫!

毎年、藤井寺市の障がい者の方々との交流事業として、藤井寺市民まつりへ参加しています。例年、暑い時期での開催ですが、そんな暑さにも負けず、このまつりを心待ちにしている参加者ばかりです。

力強い太鼓の演奏を聞きながら、『毎年これ見ないとあかんわ』と暑さもどこかへ行ってしまような爽やか笑顔をしておられました。(9/20)



11月3日のふれあいまつり開催前にふるさとセンター周辺の清掃奉仕作業を毎年行なっています。途中には南副村長が来てくださり、ねぎらいの言葉を掛けていただきました。今年は例年に比べ、参加者が少なくなりましたが、“日頃の感謝の気持ち”と一人が二人分の働きで頑張っておられました。(10/27)



今年で30回目となる奈良県身体障害者体育大会。今年も県内の市町村から多くの参加者が来られ、スポーツを通して交流を図っておられました。本村からは8名の方が参加され、元気に競技し、心地の良い汗を流されていました。(10/18)



村内の会員同士の交流会。青蓮寺湖の美しい景色を眺めながら昼食をいただいた後は、恒例のぶどう狩りです。『熟れてるぶどうはどれや!?!』『あっちの方のぶどう甘かったぞ』と皆さんで声掛け合って楽しまれている姿がとても印象的でした。(10/6)



ひ孫といっしょ

- ◆井岡 重 富さん（81歳）
- ◆井岡 富美子さん（77歳）
- ◇井岡 瑠 采ちゃん（4歳）

<山添村西波多>

「ひ孫といっしょ」では、村内在住でひ孫さんとお住まいされている方をご紹介します。このコーナーに登場していただけるモデルさんを募集します。ご希望の方は社会福祉協議会（TEL85-0181）までご連絡下さい。

『祭りだぁ、祭りだぁ』

遅瀬区

おそせ・くつろぎ広場では“秋祭りも近々開催!”ということで、祭りにも使える「うちわづくり」に取り組みました。

いつも準備を完璧にされるサポーターの皆さんは、開催前に集まって、下準備。見本は完成度の高いうちわばかりで『私こんなに上手に作れるかなあ』と不安げな表情を浮かべておられましたが、どのうちわも綺麗に仕上がり、完成したうちわを手にとって、とても良い笑顔をカメラに向けてくださいました。



大逆転なるか!?

的野区

アシユア的野では、“秋の大運動会”と題し、数種類のゲームで得点を競いました。団体戦の玉入れでは、赤色、緑色、黄色の3チームに分かれて対戦。大逆転のルールを取り入れ、白熱した試合となりました。

参加賞として皆さんにNPO法人どうでの手作りお菓子やパンが手渡され、皆さん喜ばれていました。最後は、参加者がとても楽しみにされている鮭粥をいただき、『おかわり!』と皆さんの元気な声が響いていました。



他人事ではない!

広代区

広代にここサロンでは「認知症についての勉強会」を開催しました。ある調査では、10年後には高齢者の5人に1人が認知症患者と言われており、全国的に深刻な課題となっています。“身近にそんな人いないから大丈夫”と他人事で聞いておられる方は一人もおらず、皆さん『これから自分たちにも関係してくることだ』と熱心に耳を傾けておられ、また、協力者の“名演技”が光る寸劇で認知症の方への対応を学ぶことができました。



今、注目の〇〇〇

春日区

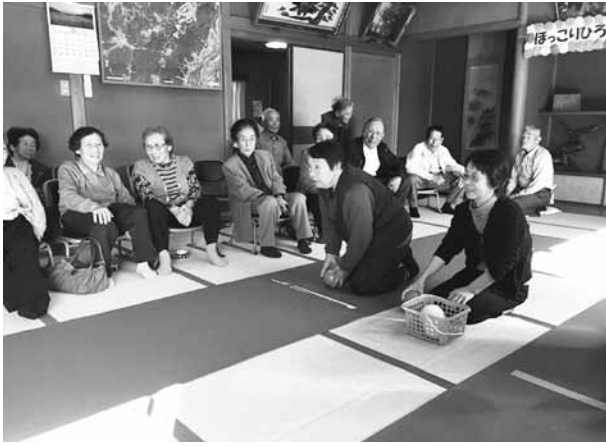
春日寿サロンでは久々となるゲームを行ないました。牛乳パックで作ったタワーに玉を当てて倒す“ぐらぐら棒倒し”では、『なかなか、しぶといなあ』『わー!倒れるー!』と大盛り上がりでした。

ゲームの後は、最近若い世代からも非常に注目されている“塗り絵”に挑戦しました。塗り絵は、指の運動や脳への刺激となる他、精神面を癒すセラピー効果もあるといわれています。『なかなか難しい』と皆さんかなり集中して取り組まれて、『家に帰っても続けてみようかなあ…』と話されていました。



白熱の1日

右屋区



「毎月25日は岩屋の日!」が、すっかり定着しているほっこり広場・いわや。今回はゲーム大会を開催し、ボーリングゲームとカローリングに挑戦しました。他の地域でも大変盛り上がるゲームですが、勝負事となると一番熱くなる地域の、やはり岩屋区ではないでしょうか!?今回も賞品に加えて、参加賞も用意されており、皆さん大変喜んでおられました。

今日は、おでかけサロン

大塩区



天候に恵まれ、『今日は本当に遠足日和やなあ』と話しながら、バスは青蓮寺ダムへ…。この日は、大塩なごみの会のおでかけサロンです。『年に1回は日帰りでおでかけしたいなあ』と多くの声が聞かれ、サポーターの皆さんで企画されました。木々の紅葉は色づいてはいませんでしたが、ダムを眺めながらの昼食。また、ぶどう園でのぶどう狩りを楽しめました。『気の知れた者同士で行けて良かった。』『来年も元氣に行きたいなあ。』と次回のおでかけサロンを楽しみにしていました。

勝利の女神はほほ笑むか?

助命区



男女別にくじを引き、紅白のチームに分かれ、対抗ゲームを行いました。サポーター手作りの新聞紙とペットボトルを使った輪投げ、輪つかすくいゲームとぐらぐら棒倒しゲームです。すべての試合が接戦となり、どちらに勝利の女神がほほ笑むのか、手に汗にぎる試合が展開されました。サポーターからも『普段、大人しい人も今日は、熱くなっていたね。』と参加者の違う一面を見て、盛りあがった助命いきいき広場に喜んでおられました。

始めませんか?あなたの地域のサロン活動!

“今まで、畑に行ったりして元気にしていた人が、家に閉じこもりがちになった。”

“地元の老人クラブの活動には、もう行けなくなった”“認知症の症状が出てきた”

そんな人、あなたの周りにいませんか?サロン活動をすることで

- ①心と体をリフレッシュができる…同じ地域に住んでいてもなかなか顔を合わすことの少ない者同士がお話やレクリエーションや趣味活動をすることで、心と体の健康を維持することができます。
- ②仲間や生きがいができる…人に会うことで、交流や楽しみが増え、生きがいが生まれます。
- ③地域のネットワークができる…地域のサポーター、民生児童委員、保健師、社会福祉協議会などの協力を得ることで地域の見守りなどのネットワークを築くことができ、安心して生活する場ができます。

※関心のある方は是非、山添村社会福祉協議会(TEL85-0181)へお知らせください。

在宅介護者家族の会『ひだまりの会』で施設見学

9月17日、在宅介護者家族の会『ひだまりの会』(代表世話人・檜森精華さん)の皆さんが名張市にある社会福祉法人こもはら福祉会「第3はなの里」を見学しました。

同施設では入所施設80床、ショートステイは30床で運営されています。説明いただいた施設長からは『家庭的な雰囲気を持っていただけるように、食事メニューや施設内のレイアウトにも工夫しています。』と話され、参加者からは『部屋も広くて明るく清潔感がありました。職員の皆さんも元気で和やかな雰囲気が感じることができました。』と話されていました。



障害者相談支援事業を開始しました。

山添村社会福祉協議会では障がい者の方の地域生活を支援するため、ケアマネジメント(相談、調整、連絡など)を希望する方の意向を踏まえて、福祉・保健・医療・教育・就労など幅広いニーズと様々な地域社会資源の間に立って、複数のサービスを適切に結び付けて調整を図る障害者相談支援事業の事業者指定を受けました。

障がいをお持ちの方で障がい者サービス等の利用をお考えの方は、山添村社会福祉協議会(TEL85-0181)へご連絡ください。

山添村善意銀行から寄贈いただきました。

村民の皆さんの善意の寄付によって運営されている山添村善意銀行から、車椅子乗車も対応できる福祉車両1台を寄贈いただきました。

高齢者、障がい者の方々の送迎や訪問介護事業等に活用させていただきます。



〔人事異動〕

ホームヘルパー 井岡 若菜

(9月1日付け 非常勤職員に採用)



“笑顔
を
忘れず!”

ホームヘルパー
井岡 若菜

皆様、はじめまして。この度、山添村社会福祉協議会でホームヘルパーとして勤務させて頂くことになりました。

私は、大阪府堺市で生まれ、山添村で育ちました。高校卒業後、しばらく山添村から離れて暮らしていましたが、昨年に帰ってきました。

高校卒業時に介護福祉士の資格を取得していましたが、今まで介護の仕事に就くことはありませんでした。今回、ご縁があつてホームヘルパーの仕事をさせて頂くことになり、地域の皆様のお役に立てるように、そして笑顔を忘れず頑張りたいと思います。

至らないところも多いかと思いますが、皆様のご指導のもと努力してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

毛原
中森
弘樹

10月から11月にかけて日本各地で秋祭り（主に農村地帯において収穫を感謝する祭り）が行われます。11月23日の「勤労感謝の日」は元々、天皇がその年の収穫に感謝する、宮中祭祀のひとつ、「新嘗祭」（にいなめさい）でした。日本人が古くから大切にしてきた秋の祭りに、近年、新しく海外から来た祭りが加わったようです。それは、「ハロウィン」です。

り。最近、急にハロウィンのイベントやパレードが、各地で盛んに開催されるようになりました。10月になると、マスコミでも大きく取り上げられました。日本とは直接関係が無いハロウィンが、お祭りとして認知されてきているのは不思議な感じがします。

ハロウィンは、ヨーロッパを起源とする民族行事で、11月1日の「諸聖人の日（しよせいじんのひ）」の前夜祭です。秋の収穫を祝い、悪霊などを追い出す宗教的な意味合いのある行事でした。最近では、宗教的な意味はあまりなくなり、カボチャをくり抜いてお化けの顔にしたジャック・オー・ランタンを飾り、お化けなどに仮装した子供達が、家々をまわりお菓子を貰うお祭りとなっているようです。日本に例えると、お盆と大晦日とクリスマスイブをミックスさせた感じですね。

しかし、なぜか日本では、大人も子供も仮装をします。新しい物を比較的簡単に受

『福祉やまぞえ』係 まで

け入れる国民性からなのか、お祭りやコスプレ好きな日本人には受け入れやすかったのか、よく分かりませんが、10月31日の夜には、大勢の人々がパレードに参加して、大変な賑わいとなりましたね。これからも、四季の行事を大切にする、日本人の秋祭りの一つとして、定着していくのだと思います。

小麦谷木枯らし一号

好天に恵まれた氏神様のお祭り。太陽と水、そして作る人の力でお米もお茶、野菜も豊作で収穫出来ました。そして氏子の皆さんは健康で幸せに過ごせることに。これは神の御守護であり、本当に有難いことであります。

十月初め、暖かい陽ざしの昼下がり。外庭で小さい蟻が一匹、砂利の中から蟻の何十倍もあるかの何かの幼虫を運ぼうとしています。蟻にとっては大きな収穫です。じつと見ているとその幼虫を砂利の中から少し引き上げたのですが、又砂利の間に。然し、あきらめずに小さな体で引つ張ったりし、上がっています。そして、砂利の上をやつと引き上げたのですが、中々大変です。携帯で仲間を呼んでいるのか、待っていても助け人見えず。又、一人で引き上げているのですが、又砂利の中に落ちました。あまりに可愛そうだったので、横の砂利を少し動かしてやりました。その砂利が邪魔になっていたようで、大きな幼虫を楽に引き上げることが出来ました。見ていた小生も、ホツと。大きな幼虫を引つ張っている蟻の姿が見えなくなりました。多分、今夜は皆で『良かったね』と、のどごしで乾杯していることでしょう。

保育園 小学校、中学校の皆さんも毎日勉学に体力づくりに頑張っておられます。この小さい一匹の蟻成せば成る成さねば成らぬ何事も、その如しです。誰でも頑張れば何事も出来るんです。

明日は希望を持って、前を向いて歩いて行きましょう
【あとがき】 助け合い、支え合い、励まし合い……それは人間社会
だけではないと思います。小生が砂利に困っていた蟻を少し助け
てやった。おかげでやっと一人で大きな収穫物を運ぶことが出来
ました。その蟻さん、おじさん、助けてくれて有難うと云って
いる様に思いました。思いのままに御笑あれ！

掲 示 板

は〜い はこちら 編集室

⑤6

ラグビーW杯で活躍した五郎丸歩選手は会見で『ラグビーにヒーローはいない。自分が得点を取ることができたのは、他の選手が犠牲になる仕事をしてくれたから…。』と語りました。

この五郎丸選手の気持ちを表現するラグビーの言葉に“**One for all, All for one**”(一人はみんなのために、みんなは一人のために。)があります。得点を取ったり、活躍しヒーローになる人の陰には、それを支える人がいるからです。

この広報紙『福祉やまぞえ』の1面には平成7年からこの『一人はみんなのために、みんなは一人のために』と掲載しています。ラグビーと福祉は違うと思われるかもしれませんが、福祉の心も「一人ひとりを支えるには、誰かの力を必要とし、お互いに支え合う気持ちを持つ」ことが大切だと思います。

今回のラグビー日本代表の姿を見て、感動とこの言葉の意味を再確認し、また改めて考えさせられました。(あ)

福祉のパズル ③③

〜頭の体操〜

□の中に入る漢字4文字を考えよう。
ヒント：障害サービス等の利用相談や調整、連絡を行う事業

□思：お互いに思いしうこと

雑□：さまざまな雑話

□柱：ささえる柱・棒

応□：助け救うこと

障害者

	雑		応
思		柱	

 事業

答えの分かった方は、ハガキ、メールに住所、氏名、電話番号、答え、『福祉やまぞえ』の感想を明記の上、下記へお送り下さい。抽選で5名の方に粗品をお送りいたします。

(以前に当選されていない方のみ対象とします)

締切日：平成27年12月4日(金)

〒630-2344 山添村大字大西1395番地の1
山添村社会福祉協議会『福祉のパズル』宛

答えは次回(第122号)に掲載します。
第118号の答えは交通空白地でした。

携帯電話にてQRコードを読み取って下さい。山添村社会福祉協議会メールアドレスが掲示されます。



あたたかい心としるし ありがとうございました

(平成27年8月13日～平成27年11月9日ご寄付分)

《金 銭》

《合計一八〇,〇〇〇円》

◆大門 寿一様 (奈良市)

◆匿名

◆上谷 博利様 (遅瀬)

◆宮坂 美恵子様 (毛原)

◆中森 隆章様 (三ヶ谷)

◆山添村

ゲートボール協会様

《物 品》

◆春日寿クラブ女性部様
雑巾多数

◆匿名

お米90キロ

◆上谷 博利様 (遅瀬)

おむつ、
おむつカバー多数

ゆずってください!



山添村社会福祉協議会のデイサービスでは、手押し車(シルバーカー)を使用される方が多く、現在不足しています。
ご自宅に使っていない手押し車がある方は、ぜひ山添村社会福祉協議会(TEL85-0181)へご報告ください。

社協の“たこ焼き屋さん”大盛況でした!

11月3日に開催された「山添ふれあいまつり」で社協職員による“たこ焼き屋さん”を出店し、予定していた250食すべて完売しました。



なお、この収益金によりサロン活動で利用できるレクリエーション教材を購入させていただく予定です。

「福祉やまぞえ」は山添村社会福祉協議会の会費によって、発行しています。

次回発行は2月26日を予定しています。お楽しみに!